

別記様式第7号

公益信託ぎふNPOはつらつファンド  
実績報告書(事業助成用)

平成19年4月10日

公益信託ぎふNPOはつらつファンド受託者  
三菱UFJ信託銀行株式会社 へて

住 所:〒 504-0853  
各務原市蘇原熊田町2丁目33番地  
法人(団体)名NPO法人竹林救援隊 :印  
代表者名: 小川 泰鉄

公益信託ぎふNPOはつらつファンドから平成18年度(前期・後期)の事業助成を受けた事業が完了しましたので、下記のとおり関係書類を添えて報告します。

記

1. 事業名

長良川右岸千鳥橋上流の竹林整備

2. 助成の種類 該当するものに を付けてください。

法人設立前事業助成	立ち上げ時期事業助成	展開期事業助成	人材育成事業助成

3. 助成金額

既交付金額	1617千円
実績額	1617千円
差し引き額	0千円

4. 事業実施期間

平成18年4月1日 ~ 平成19年3月20日 ( 1年 0か月間)

## 5. 実施した事業の実績・成果

<p>(1) 具体的な活動状況（実施日時、場所〔住所〕、対象者、参加者等）</p> <p>場所 岐阜市古津 長良川右岸千鳥橋上流の竹林</p> <p><b>ボランティア参加竹林整備</b></p> <p>実施日時 平成18年7月8日（土）午前7時～9時 参加者 約450名 一般市民、岐阜土木事務所、岐阜土木工業会、測量設計協会 造園緑化協会、 関連竹林整備ボランティア、</p> <p>実施日時 平成18年12月2日（土）午前7時～9時 参加者 約180名 一般市民、岐阜土木事務所、岐阜土木工業会、岐阜市役所等</p> <p><b>会員による竹林整備</b></p> <p>実施日時 平成18年4月より平成19年3月20日まで 年間36回の整備活動</p> <p>参加者 会員 延べ約250名</p>	
<p>(2) 活動の成果（開催行事等の参加規模、目的の達成度、効果等）</p> <p>参加規模</p> <p>1. ボランティア竹林整備</p> <p>参加者 7月8日 約450名 12月2日 約180名</p> <p>7月8日は、岐阜土木事務所がそれぞれの団体（岐阜土木工業会、岐阜測量設計協会、岐阜造園緑化協会、竹林整備ボランティア等）に働きかけを行っていただき多数の参加がありました。12月2日のボランティアについては、岐阜土木事務所の要望で、我々竹林救援隊が主催してもらえないかと話しがあり、進めてまいり同じように案内をしましたが、非常に参加者が減りました。ただし、一般の参加者は、60名あまりと非常に増加しています。</p> <p>2. 会員による竹林整備</p> <p>年間 36回 延べ約250名</p> <p>平成18年4月はじめより平成19年3月末までの我々の自主整備は目的面積に達成しないため、回数が大幅に増加しました。</p> <p>目的の達成度</p> <p>竹林の整備面積は、目標の約80%強になっていますが、廃竹の排出量は、目標以上で7月に4トントラック約17車、12月25車となっています。放置竹林を整備することは、現場の作業をやってみなくては判断が出来ず、廃竹の処理量、面積、時間等の算出は困難である。【約7000㎡整備完了】</p>	

#### 効果等

県道94号線（岐阜～美濃線）を通勤されている方々、地域住民の皆様からは、感謝の言葉を聞くことが出来ています。

整備の時にチラシ配布をお願いした、上流の自治連合会会長より住民の方々の声を聞き及んでいます。

本年度は、積雪も少なく交通障害になることは少なかったけれど、通行途中に県道より長良川が見えるようになったことは、地域住民の方々の心に焼き付いているであろうし、一般ボランティア参加の人数が増加傾向にあることは、これらを表していると思います。

#### 本年の問題点

ガソリンの高騰によりレンタカーの使用に非常に苦労する。

会員のトラック所持者の好意により廃竹搬出に協力を得て何とか処理ができました。

#### (3) 今後の課題

##### ボランティアへの参加者を増やすには？

放置竹林が環境に如何に問題になっているか？ 一般住民の方たちに啓蒙活動を行う困難さ！ 子供たちから親へ、祖父母へ、竹に関するイベントを増やし関心を持ってもらうよう、行政、子供会等の協力を得て啓蒙活動をする。

##### 会員の募集

団塊の世代の方たちに、楽しく竹林整備の活動に参加していただくために、フィールドの確立、イベント、竹クラフト作成等を提案しより多くの方々の募集を行う。

##### 廃竹の処理

竹林より排出される竹を、野積みするでなく、粉碎機の導入により竹をチップ化することにより容積の減少、肥料、雑草押さえ等に利用できるよう、粉碎機の導入を、行政の協力を得て実現したい、これにより自立したNPOを目指したい。